

全中道研会報

令和5年3月6日 No.4

全日本中学校道德教育研究会

<https://zencyudo.webnode.jp>



会長挨拶

全中道研

令和4年度の活動を

振り返って



令和4年度 全日本中学校道德教育研究会

会長 月田 行俊

日頃から、全中道研の活動にご協力いただいていることに感謝するとともに、各地域での道德教育推進に向けてご尽力をいただいていることに深く敬意を表します。

今年度は、「組織体制の充実と強化」「情報共有と情報発信」「研究大会の支援」「研修会の充実」を柱に、会を運営して参りました。

組織体制の充実と強化については、このテーマそのものについて意見交換を行う副会長会を設定することや、第2回役員・理事会でブロック別情報交換会を設定することができました。情報共有と情報発信については、ブロック別情報交換会の内容を全体会で共有したことや、2回目となるweb全国大会を通して、多くの皆様に課題の共有や実践の発信をしていただけるようにするとともに、オンラインによる質疑応答にも試みました。研究大会の支援については、全国大会における上廣倫理財団や石橋財団からの支援や、大会運営における支援をさせていただくとともに、地区の大会にもいくつか参加させていただきました。研修の充実については、夏に道德教育推進教師育成講座を実施し、講話や演習を通して指導案づくりを行いました。

web開催した山形大会は、多くの皆様のご支援のもと、無事に終えることができました。山形での開催が決定した後、公開授業校や開

閉会式のための会場確保など、事前に準備されていたことが水泡に帰し、改めて大会の在り方を検討し直すといった苦労の末、開催することになり、大会を運営する山形県の皆様のご苦労は計り知れないことだったのではないかと思います。おかげさまで、大会集録も完成し、各地区に広く周知していただくとともに、その成果を共有していただければと思います。

令和5年度の全国大会は、第57回大会となります。「主体的に学び合う児童・生徒の育成～well-beingの実現を目指した道德教育の実践～」を大会主題に掲げ、函館の地で対面での開催を計画していただいております。山形大会での成果を北海道大会（函館大会）につなげていきたいと考えています。

変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代、いわゆるVUCAの時代といわれる今後を見据える取組が不可欠となります。その時代を担う子供たちのためにも、全中道研として、研究の灯を消すことなくつなげ、持続可能な研究会として発展していく必要性を感じているところです。

そのためにも、未来の全中道研は、これまでの良さを残しつつ、各地区の実情等にも考慮しながら、新たなスタイルを取り入れて発展させていく必要があります。対面とオンラインを併用したハイブリッド型で役員・理事会や道德教育推進教師育成講座を行ってきたことなども生かしながら、今後の在り方を検討する一年であったように感じます。

最後に、上廣倫理財団、石橋財団をはじめ、相談役、顧問、参与、理事の皆様に対し、改めて感謝するとともに、引き続き全中道研発展のためによりしくお願いします。

ブロック大会等東京大会報告

東京都中学校道徳教育研究会長 加藤 敏久

○期間 令和5年2月7日(火)

○会場 東京都多摩市立聖ヶ丘中学校

○方法 ZOOMを活用したオンライン開催。ハイブリット方式で、公開授業、研究発表、指導講話をリアルタイムで配信した。

○内容

大会主題「教科の特質を生かしつつ、これからの時代に対応する道徳科の指導の工夫」

東京都では、昨年度に引き続き、道徳科の特質を最大限に生かしながら、新しい生活習慣における持続可能な指導法の工夫及び授業時数を確保しつつ、「道徳科の不易(特質)をつなげるために、流行(施策)をどのように取り入れるか」に迫った。

研究部会はコロナの感染状況を見ながら参集型でワークショップ等を行い、コロナ禍での校内体制の在り方やGIGAスクール構想によるタブレットPCの効果的な活用等について検討した。国や東京都の施策と関連付けた道徳教育におけるカリキュラム・マネジメントの考え方、ICT支援員等との連携、教材や資料などを研究し、「道徳教育推進教師による従来からの課題を解決しつつ、新しい時代の校内体制の構築」

「ICT機器を活用した道徳科のさらなる授業改善」を要に、全国大会や関ブロ大会において研究の成果を発表した。全国大会では、文京区立第九中の戸上理子教諭が学校全体による組織的な道徳教育の取り組みによる授業改善について発表し、たいへん高い評価を得た。関ブロでは、世田谷区立桜丘中の大谷秋音先生がICTを活用した意見共有について紙上发表し、どんな発問がICTによる情報共有に適しているか、多くの方に提言することができた。

また、本会では、毎年「道徳教育の充実に係るアンケート調査」を実施して、東京

都の傾向を知るとともに、生徒たちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現の方策を追究する研究の拠り所としている。

これらの1年間の研究内容を、研究発表大会で広く都内に発信することができた。

○公開授業

ワークショップ等の成果を生かし、タブレットPCを活用した公開授業を通じて、①ICTの活用の在り方や要点、②いわゆる定番資料を用いた新しい授業展開、③道徳科の特質をしっかりととらえた現代的な課題SDGsの扱いなど、研究成果の一端を公開し、道徳科の指導の工夫について提案した。

1年生の3つの教室からZOOMで視聴できる環境を設定し、例年に倣い、本研究会の研究部員が授業を公開した。

【1年生：3クラス公開】

・内容項目「C 遵法精神」

教材「仏の銀蔵」

授業者(研究部員) 海老沢 宏 主幹教諭
(八王子市立宮上中学校)

・内容項目「D 生命の尊さ」

教材「いのちを考える」

授業者(研究部員) 戸上 琢也 主幹教諭
(渋谷区立代々木中学校)

・内容項目「B 礼儀」

教材「Manners make the man.」

授業者(研究部員) 大谷 秋音 教諭
(世田谷区立桜丘中学校)

○研究発表

【研究部の1年間の活動について(まとめ)】

麻生 隆久 校長(多摩市立聖ヶ丘中学校)

戸上 理子 教諭(文京区立第九中学校)

大谷 初音 教諭(世田谷区立桜丘中学校)

長野 基 校長(昭島市立福島中学校)

○指導講話

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官 飯塚 秀彦 様

演題 「道徳科の指導を充実させるための諸計画の作成」

第3回役員・理事会報告

令和5年2月25日（土）、板橋区立赤塚第二中学校を会場に、オンライン配信も併用した全中道研役員・理事会（第3回）を行いました。

主な議事・報告は、次の通りです。

- 1 令和4年度事業概要報告
- 2 令和4年度決算報告
- 3 令和5年度事業計画案
- 4 令和5年度予算案

事前に配付した資料をもとに説明し、了承していただきました。

なお、年度末の事業等が残っていることから、正式な報告及び計画については、第1回役員理事会で確認する予定です。

5 研究大会の報告・計画等について

①全国大会

◇令和4年度山形大会(11/10～30 WEB開催)

- ・上廣倫理財団、石橋財団等のご支援により、大会が無事終了し、大会収録も発送することができました。

◇令和5年度北海道（函館）大会(11/1・2)

- ・小中合同で開催予定。対面での開催予定であるが、人数制限の可能性もある。
- ・函館市立亀田中学校で授業公開予定。
- ・課題別分科会の報告等について、4月に依頼予定。

◇令和6年度 神奈川大会(11/21・22)

- ・カルッツかわさき及び川崎市立渡田中学校を会場に、対面もしくはハイブリッド開催予定。参加費等について今後決定し、来年度連絡予定。

◇令和7年度 岐阜大会(11/27・28)

- ・小中合同開催予定。岐阜市会場。

◇令和8年度 東京大会

- ・今後具体的な準備を行っていく。

②ブロック大会

◇北海道[毎年開催] R4 根室・中標津

R5函館(11/1・2)/R6上川・旭川/R7札幌

◇東北[毎年開催] R4山形

R5宮城9/21分科会、10/19研究授業公開
分散開催、オンデマンド配信を検討中

◇関東甲信越[毎年開催]

R4群馬(書面開催)

R5栃木(10/27)対面開催予定

R6川崎(11/21・22)/R7山梨(オンライン開催)

◇東京[毎年開催]

R4多摩市立聖ヶ丘中オンライン開催

R5東京(23区中学校開催予定)

◇東海北陸[全国開催]

R7岐阜(11/27・28):会場決定

◇近畿[毎年開催]

R4滋賀:小中参集開催、浅見調査官講演

R5兵庫(11/17)/R6和歌山

R7大阪/R8滋賀/R9奈良

◇中国[隔年開催]

R5岡山:8月7日～24日(WEB開催)

R7広島/R9鳥取/R11島根

◇四国[隔年開催]

R4愛媛:359名参加

R6徳島:ブロック大会(小は全国)

R8香川/R10愛媛

◇九州[隔年開催]

R5宮崎:小中合同、WEB開催検討中

R7鹿児島/R9熊本/R12長崎

6 令和5年度役員組織について

- ・令和4年度会長・事務局長が継続する方向で了承していただいた。正式な決定は、第1回役員・理事会で承認予定。

7 事務局からの連絡

○令和5年度当初の連絡等について

- ・全中道HP及び令和4年度役員・理事へ連絡(メール)いたします。
- ・現役員・理事の方で、年度末に退職・異動等でメールアドレスが変更となった場合は、新しいメールアドレスまたは代理の方のメールアドレスを事務局メールにてご連絡ください。

- 『令和5年度都道府県代表者(ブロック代表)の報告』『令和5年度 新顧問・新参与の報告』『令和5年度功労者表彰候補者情報の確認』『令和5年度道德教育推進教師育成講座受講者の推薦』
- ・指定のGoogle formsからご報告をお願いします。【令和5年5月26日締切】

◇令和5年度道德教育推進教師育成講座

- ・令和5年8月5日(土)6日(日)[端末持参]
- ・東京都内会場(ハイブリッド型)
- ・受講者(定員40名程度を予定)
- ・令和5年度・6年度の全国大会開催地区(北海道・神奈川)及び関東甲信越地区(栃木)については、参集・オンラインのいずれかで参加することを原則とする。
- ・令和5年度の各ブロックの開催地区(宮城・東京・兵庫・岡山・宮崎)についても、参集・オンラインのいずれかで参加することを原則とする。
- ・他のブロック・地区についてもご推薦をお願いします。理事の皆様の参加可。

≪8月5日≫

①開講式(会長挨拶・1日の流れ)

②研修A(講演)

「『考え、議論する道德科の授業』の充実に向けて」

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官

飯塚 秀彦 先生

③研修B(講演)

「学習指導案の作成について」

講師 東京都教職員研修センター研修部授業力向上課

東京教師道場教授 森岡 耕平 先生

④研修C: 班別教材分析・意見交換

⑤研修D: 班別指導案作成①

≪8月6日≫

⑥研修E: 班別指導案作成②

⑦研修F1: グループ発表/模擬授業

⑧研修F2: グループ発表/模擬授業

⑨研修G(指導・講評)

「グループ発表総括・道德教育推進教師に望むこと」

講師 東京都教職員研修センター研修部授業力向上課

東京教師道場教授 森岡 耕平 先生

⑩閉講式(会長挨拶・事務連絡)

○2022年度道德教育育成助成金に関わる報告

- ・3月中にご報告をお願いします。

○「道德教育実践事例集第9集」発行

- ・送付数は、各地区の中学校数の2分1冊とし、3月中旬後に各都道府県理事宛に送付いたします。各地区内での配布・活用をお願いします。

○令和5年度 理事会の開催について

第1回 令和5年7月8日(土)

東京都内会場(未定)【全中道・関中道】

第2回 令和5年11月1日(土)

北海道函館市立亀田中学校【全中道】

令和5年10月27日(金)

栃木県足利市立北中学校【関中道】

第3回 令和6年3月2日(土)

東京都内会場(予定)【全中道・関中道】

第3回役員・理事会講演会

講演「道德教育の充実に向けての課題」

講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

飯塚 秀彦 先生

※講師の飯塚先生から、ご講演で使用された資料を全中道研ホームページに掲載する許可をいただきました。ホームページの『役員理事会』タブ内に掲載しておりますので、ご確認ください。

<https://zencyudo.webnode.jp>

令和5年 第1回役員・理事会

期日: 令和5年7月8日(土) 時間: 未定

関中道研役員・理事会

全中道研副会長会 全中道研役員・理事会

会場: 東京都内会場(ZOOM 併用開催)

※詳細はHP及び開催通知をご確認ください